

事業概要シート

施策 1602 観光客受入体制の整備

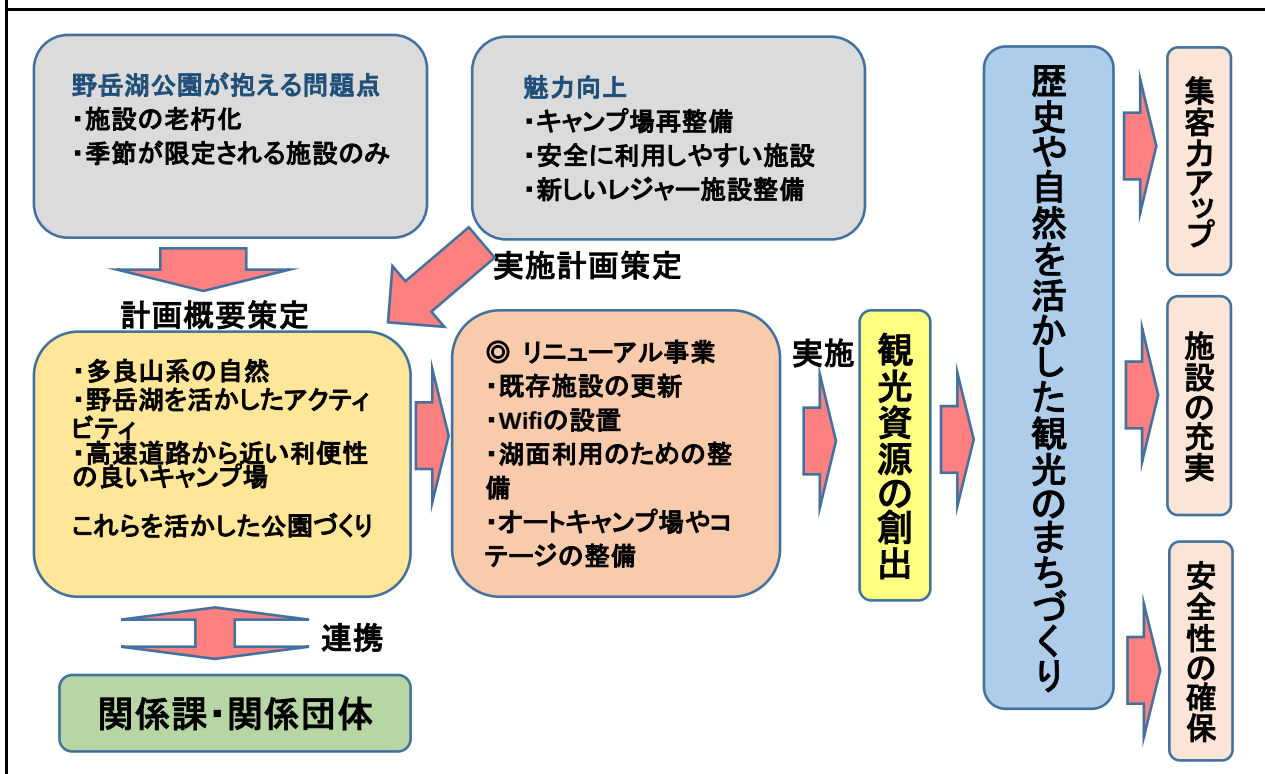
《》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	野岳湖公園リニューアル事業	新規	予算額	2,474 千円
				《》 千円
事業期間	平成31年度 ~ 平成37年度	財源内訳	国庫支出金	1,056 千円
			県支出金	千円
根拠法令 要綱等	大村市野岳湖公園条例	地方債	千円	
		その他	1,418 千円	
		一般財源	千円	

【事業の目的・概要・対象】

野岳湖公園利用者に安全で快適なサービスを提供し、交流人口の拡大を図る。

- (1) 老朽化した施設の更新
 常設のテント、水辺の広場デッキ、散策路など公園全体の老朽化している施設の更新を行う。
- (2) 利用者利便の向上
 観光基盤の整備としてWIFI（AP）の設置を行うことにより、利用者の利便性の向上を図る。
- (3) 湖面利用の整備
 野岳湖の湖面でカヌーやカヤックなどが出来るよう施設整備し、利用者の増を図る。
- (4) 年間利用の向上
 コテージの設置を行い年間（冬場）でも利用が出来る施設の整備を行い、利用者を増やす。



【背景】

観光資源として大変魅力ある野岳湖公園であるが、整備後長い年月が経過し施設の老朽化が目立つ。キャンプ場の利用者からは施設に対する苦情も多く、リピーターも増えない状況である。利用者の増加のため現存の施設のリニューアルと新たな施設の整備が必要である。

担当課	都市整備部河川公園課	課長	寺道 康彦
担当者	三根 淳一郎	問合せ先	0957-53-4111（内線436）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	整備進捗率	目標値 %				2	15
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	利用者数	目標値 人	97,484	100,477	110,000	110,000	110,000
②		目標値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	0	2,474	20,000	20,000	42,474
国庫支出金				1,056			1,056
県支出金							0
地方債							0
その他				1,418			1,418
一般財源					20,000	20,000	40,000
人件費		0	0	2,929	2,929	1,474	7,332
職員(人)				0.40人	0.40人	0.20人	1.00人
時間外勤務(h)				10h	10h	10h	30h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	5,403	22,929	21,474	49,806

妥当性 (市の関与)	「大村市観光交流都市づくり計画」に基づき、観光拠点施設の整備については市の役割として取り組む。
有効性 (施策貢献度)	安全で快適なサービスを提供することで、新たな利用者及び観光客など誘客に繋がる。
効率性 (コスト)	施設整備については費用は必要であるが、設置後の維持管理については、指定管理者で対応できる部分もあり、必要最小限の修繕経費だけで抑えられる。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--